

ほけんだより

平成29年4月25日
精華町立精華南中学校

明日は、耳鼻科検診です！

耳そうじをしておこう！

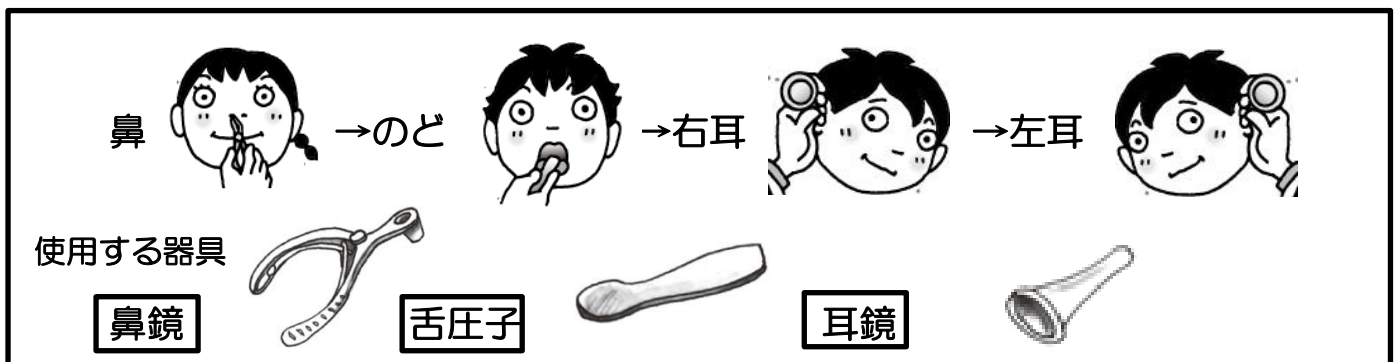
例年耳鼻科検診で、耳垢と指摘される人が大変多いので、今夜は、耳掃除をしておきましょう。また、検診前には鼻をかんでおきましょう。



耳鼻科検診は、1年、2年、3年の順番で9：00から始めます。

耳鼻科医は、松川先生です。

検診の順番



髪の毛で耳が隠れている人は、髪の毛をまとめるか耳にかけて両耳を出して、検診を受けてください。

耳鼻科検診でわかる病気の一覧

所見名	内容と説明
じこうせんそく みみあか 耳垢栓塞（耳垢）	鼓膜が見えない程度に耳垢が溜まっています。このままプールに入ると耳垢がふやけて、聞こえが悪くなったり外耳炎を起こしたりします。また鼓膜が見えないため、中耳炎などの病気が隠れていることもあります。安全に耳垢を除去するためにも医療機関での除去をお勧めします。
しんしゅつせいちゅうじえん 滲出性中耳炎	鼓膜の内側に水がたまって、聞こえが悪くなる病気です。痛みがないので本人が気づかぬうちに進行します。日常会話や学校生活に差し支えることがあります。
まんせいちゅうじえん 慢性中耳炎	炎症を繰り返し、鼓膜に穴があいています。耳だれが続いたり、聞こえが悪くなったりします。放置すると難聴が進行するおそれもあります。
なんちよう うたが 難聴の疑い	学校の聴力検査ではっきり聞き取れないところがありました。別紙「聴力検査結果のお知らせ」をご覧ください。
アレルギーせいびえん アレルギー性鼻炎	原因となる物質（アレルゲン）を吸入すると、くしゃみ・鼻水・鼻づまりなどの症状が出ます。慢性的な鼻づまりは集中力の低下など学校生活にも影響し、鼻出血の原因にもなりやすいです。アレルゲンには、ホコリ・ダニ・花粉などがありますが、花粉の場合は、季節によって症状がかなり変動します。症状が辛い場合には、受診をお勧めします。
ふくびくうえん 副鼻腔炎	慢性的に粘性・膿性鼻汁があり、鼻づまりや嗅覚障害・鼻出血・頭痛・痰がらみの咳など、いろいろな症状の原因となります。
まんせいびえん 慢性鼻炎	慢性的な鼻づまりや鼻汁過多があり、集中力の低下など学校生活に影響を及ぼすと思われます。学校の健康診断だけでは花粉症などのアレルギー性鼻炎や副鼻腔炎と診断できないものも含まれます。治療が必要な場合もあります。
びちゅうかくわんきょくしょう 鼻中隔湾曲症	鼻の左右の空間を仕切る壁（鼻中隔）が強くと曲がっているため、鼻づまりや鼻出血の原因となることがあります。
アデノイドの うたが 疑い	鼻の一番奥にある扁桃組織の一つです。口を開けて呼吸をしていたり、「いびき」をかくなど、睡眠時呼吸障害の原因となったり中耳炎や副鼻腔炎を起こしやすくなったりします。
へんとうひだい 扁桃肥大	扁桃が腫れています。大きくても心配ないものもありますが、呼吸や嚥下の障害（飲み込みにくい）を来す場合があります。
へんとうえん 扁桃炎	かぜをひきやすく、のどを痛めやすい原因となります。繰り返し高い熱を出す習慣性扁桃炎や関節・腎臓・心臓の病気の原因になる病巣感染源となることがあります。
おんせいじょう 音声異常	長期にわたる声がれや鼻声などの異常があります。小学校高学年以上になると「声がわり」がうまくできないことも原因となります。
げんごいじょう 言語異常	話し言葉に異常があります。程度によっては専門機関での治療が必要となります。